

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 :GreenWet
整理番号 :FC-S-003(0)
会社名 :日本ドライケミカル株式会社
住所 :〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
担当部門 :技術本部 (TEL:03-5815-5025 Fax:03-3822-9770)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2

上記以外の項目については、区分に該当しない、または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

警告

- H316 軽度の皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ
H319 強い眼刺激
H350 発がんのおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H371 臓器の障害のおそれ
H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P203 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
P261 ガス、ミスト、蒸気の吸入を避けること。
P264 取り扱い後は、手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
P321 特別な処置が必要である(このラベルの 4. 応急処置を見よ)。
P302+P352 皮膚についた場合:多量の水で洗うこと。
P305+P351+P338 目に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて、

注意書き 安全対策

応急措置

容易に外せる場合は、外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P316 ばく露またはその懸念がある場合:すぐに救急の医療措置を受けること。

P319 気分が悪いときは、診察を受けること。
P332+P317 皮膚刺激が生じた場合:医療措置を受けること。
P333+P317 皮膚刺激または発疹が生じた場合:医療措置を受けること。
P337+P317 眼の刺激が続く場合:医療措置を受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P405 施錠して保管すること。
P501 内容物/容器は、関係法令に従って廃棄すること。

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :混合物(合成界面活性剤配合物)
化学名または一般名 :GreenWet

成分	含有率(%)	化学式	官報公示番号	CAS No.
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	10%未満	C ₈ H ₁₈ O ₃	7-97	112-34-5
トリエタノールアミン	10%未満	C ₆ H ₁₅ NO ₃	2-308	102-71-6

4. 応急措置

皮膚についた場合 :大量の水で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合:医療措置を受けること。
眼に入った場合 :水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 :医療措置を受けること。
ばく露またはその懸念がある場合 :すぐに救急の医療措置を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 :該当しない(本製品は消火薬剤である)。
使ってはならない消火剤 :同上

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護服等を着用し、飛散物等が皮膚に付着したり吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項 :飛散拡大防止措置を図り、回収する。また、薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起こさないようにする。
閉じ込め及び浄化の方法及び機材 :少量の場合は速やかに布等で拭き取るか、スcoop等ですくい取って密閉できる容器に回収する。多量に流出した場合は盛り土で囲って流出を防止し安全な場所に導いてから処理する。薬剤が付着した箇所は流水で良く洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策及び注意事項 : 保護具を着用し、眼、皮膚接触を防ぎ、風上で作業する。

取扱い後は、使用した保護具、手、顔などを良く洗う。

保管

保管条件 : 雨水、直射日光があたらない場所(+2.5℃～+30℃)に保管する。
高温環境下で保管しない。又、凍結させない。
低温により乳白濁するが、成分の一部が析出した為で、常温にすれば元に戻る。
密栓し、正立の状態で保管する。
大きな振動や衝撃を与えるなど、乱暴に取扱わない。

安全な容器保管材料 : 該当する薬剤缶が望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設ける。

保護具 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具(マスク)

手の保護具 : 保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 淡黄色透明
臭い : わずかに芳香を有する。
沸点又は初留点及び沸点範囲 : 沸点 100℃
可燃性 : 不燃性である。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 火災爆発の危険性はない。
引火点 : 不燃性である。
自然発火点 : 不燃性である。
分解温度 : データなし
pH(20℃) : 7.57 (20℃)
動粘度 : 1.33 mm²/s(20℃)
溶解度 : 水溶性
蒸気圧 : データなし
密度及び／又は相対密度 : 1.011 g/cm³(20℃)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の手取り扱い条件においては安定である。
化学的安定性 : 常温で安定だが、長時間空気に触れると劣化する恐れがある。
危険有害反応可能性 : 火災爆発の危険性はない。
避けるべき条件 : 直射日光・雨水など
混触危険物質 : 混合物としてのデータなし。
危険有害な分解生成物 : 混合物としてのデータなし。

11. 有害性情報

現在のところ混合物としての有害性情報のデータはない。
参考として、各危険有害成分単体についての有害性情報を下記に示す。

	ジエチレングリコール モノブチルエーテル	トリエタノールアミン
急性毒性(経口)	区分外	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分外	区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵及びミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分外	区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A	区分 1
呼吸器感受性	分類できない	分類できない
皮膚感受性	区分外	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	区分 2
生殖毒性	分類できない	区分 2
授乳に対する影響	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない	区分 2 肝臓 区分 3 気道
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない	区分 2 気道
誤えん有害性	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性試験 :LC₅₀ > 100 mg/L (混合物として)

	ジエチレングリコール モノブチルエーテル	トリエタノールアミン
急性水生毒性	区分外	区分 3
慢性水生毒性	区分外	区分外

残留性・分解性 :BOD 125 mg/L (0.5%希釈水の実測値の一例)
生態蓄積性 :データなし
土壌中の移動性 :データなし
オゾン層への有害性 :データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄に関する情報

残余廃棄物 :廃棄の必要が生じた場合、焼却処分が最善である。
外部に処理を委託する場合には、都道府県知事の認可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託する。
(各地域の排水基準に従い、希釈して下水排出も可能である。)

14. 輸送上の注意

国内規制 :陸上輸送:消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送:船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送:航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
容器が密栓されていることを確認する。

国際規制 : 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。

国連分類 : 該当しない。

国連番号 : 該当しない。

安全対策 : 輸送前に容器が密栓されているか、又、液漏れがないか確認する。
乱暴に取り扱って容器を破損させることのないように注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2(施行令第 18 条の 2)名称等を通知すべき有害物
ジエチレングリコールモノブチルエーテル[番号;224-3]

トリエタノールアミン[番号;381]

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法):

ジエチレングリコール モノブチルエーテル(第一種指定化学物質)

毒物劇物取締法 : 該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法):

PFOS 又はその塩、PFOA 又はその塩に該当せず。

水質汚濁防止法 : 使用濃度 0.5%以下にて一般排水基準以上となる項目なし(ただし都道府県条例などにより上乘せ基準を設けている場合あり)。

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、JIS Z 7252/7253:2019 に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、弊社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。